

令和4年 産業建設委員会 調査視察報告

今期の重点項目

- ①農業を支える新たな担い手の育成・有害鳥獣対策の推進に関する調査・研究
- ②防災・減災機能の充実・強化に関する調査研究

重点項目を踏まえた対応予定

先進地視察、勉強会、市民と議会のわがまちトーク、第7次総合計画・前期実行計画の点検評価を通じて状況等の把握を行い、①の「農業を支える新たな担い手の育成・有害鳥獣対策の推進」に関する課題と支援策について、より効果的な政策提言として取りまとめ、市長へ提出予定。

先進地視察

先進地視察の概要

- 【実施日時】 2月7日(月) 10時30分～12時
 【視察先】 兵庫県養父市(国家戦略特区地方創成課)
 【視察形式】 オンライン視察
 【視察項目】 国家戦略特区(中山間農業改革特区)について
- (1) 取組の概要や背景について
 - (2) 規制緩和と成果について
 - (3) 担い手確保と育成について
 - (4) 今後の課題について

- ◇ 国家戦略特区とは、大胆な規制緩和により経済活性化の拠点をつくる仕組み。
- ◇ 養父市の提案に基づいて国が規制改革を主導し、養父市をモデル地域として民間事業者が経済活動を実践。
- ◇ 規制改革を実践しながら、更なる規制改革を提案していく。
- ◇ 養父市は、平成26年に「中山間農業改革特区」として、国家戦略特別区域の区域指定を受けている一次指定の6区域のうちの一つ。

【委員名簿】

委員長	今 西 克 己	新政クラブ議員団
副委員長	尾 関 善 之	創政クラブ議員団
委員	石 束 悦 子	日本共産党議員団
委員	上 野 修 身	新政クラブ議員団
委員	鴨 田 秋 津	市民クラブ舞鶴議員団
委員	松 田 弘 幸	公明党議員団



令和4年 産業建設委員会 調査視察報告

先進地視察の概要

視察目的

◇ 本市では、農家の高齢化や後継者不足などにより、耕作放棄地が増加し、それに伴って有害鳥獣の被害も増え、農業だけでは生計が立てられないという農家があるなど、営農意欲の低下と農業の担い手不足が喫緊の課題となっているため、養父市の取組や課題、今後の見通しなどについて調査を行い、より効果的な農業振興の実施につなげていくことを目的とする。

視察内容

- (1) 全国画一的な施策ではなく養父市自らが施策を考え国の特区制度を活用し、中山間地域の価値を見出した。
- (2) 農業生産法人の要件の緩和、企業による農地取得の特例を設けるなど、企業が担い手として農地を所有し、営農を可能にしたことで営農面積の拡大、未作付け地、耕作放棄地の再生を行ったことなどから域内における雇用の創出につながった。
- (3) 農用地域内での大幅な規制と緩和と、6次産業化を促進したことが企業、個人の就農につながっている。
- (4) 生産野菜等の販路の拡大は最重要課題と位置付け、国家戦略特区の取組みを更に活用に努め農作業の省力化とほ場情報管理の効率化を進め、経験や技術のない新規農業参入者でも少人数で営農できる体制を構築できるかが課題と捉えている。

政策
提言
↑

委員所感

- ◇ 養父市の国家戦略特区（中山間農業改革特区）の指定利点を全国画一的な施策ではなく、養父市独自の戦略として自ら施策を考え、特区制度を大胆に活用、運用し、中山間地域の価値を創造した取組みを行っていること、農業生産法人の要件緩和、企業による農地取得特例等多数の施策を提案し実行に移していること、加えて市議会の同意が必要な農地取得等に際し、議会が積極的に合意形成に努め、その機能を発揮しスピード感を持って施策に反映していることなどが高く評価できた。
- ◇ 6次産業化や農商工連携に対して、各産物に付加価値を付けるなど地域振興策と合わせ攻めの施策を講じている。